

「尚徳」 9月号 第600号 令和4年9月29日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>

題字「尚徳」は、住川英明 地域学部教授 (元校長)



## 「3密」から「三密」に学ぶ

副校長 葉狩 学

早いもので、あとわずかです。令和4年度前期が終わります。1年生にとっては、小学校生活初めての通信書ももらいます。また、6年生にとっては、小学校生活最後の終業式となります。

さて、9/26(月)からWithコロナの新たな段階への移行として、全国一律で保健医療体制の重点化が開始されました。一人ひとりが自覚をもって行動し、引き続き「うつらない」「うつさない」取り組みをお願いします。今さらながら、「3密」については密閉・密集・密接の詳細を説明するまでもありませんが、日々耳にする言葉であり常に意識しているものです。数字の「3密」はよく見聞きしますが、漢数字の「三密」となると話が少し違ってきます。先日、あるお寺でご住職の説法を聞く機会がありました。「三密」は弘法大師の教え、身密(しんみつ)、口密(くみつ)、意密(いみつ)であり、からだや行動(身)を整え、言葉や発言(口)を正しいものとするれば、おのずと心や考え(意)をもって整うというもので、「三密」を研ぎ澄ませば心穏やかに過ごせるというお話でした。コロナ禍でコミュニケーションを取るのが難しくストレスの多い環境の中、子供同士、保護者同士、学校と各ご家庭の関係性が重要な今だからこそ、これらを意識してバランスよく実践することが大切です。

例えば、下記のようなとらえ方はいかがでしょうか。

- ・自分の行動を見つめ直し、相手を思いやる行動をとる。 **【身密】**
- ・ありがとうや感謝の気持ちを伝えるとともに、自分の言葉遣いを見直し直す。 **【口密】**
- ・立ち止まって心穏やかに自分の心を見つめ、心豊かでいられる。 **【意密】**

弘法大師がコロナ禍のこの世を予想していたとは思えませんが、どの世にも通じる普遍性を感じたところです。

最後に前期を振り返ってみますと、今年度もコロナ対策をしながらの学校生活でした。春の遠足(昨年度は「砂の学校」)は、学年ごとに出掛けることで感染リスクを下げるとともに、自分たちで学年学級交流の遊びを考え楽しむことで絆を深めました。「旅の学校」は、昨年同様島根県に出かけました。日程を変更することなく、無事実施することができました。運動会は懇話会役員のご協力のもと、今年度は徒競走ゴール付近にも応援エリアを設定し、応援がよりしやすくなりました。全力で走り切る徒競走、ペアやチームで最後まで協力する団体種目、6年生の全員リレーは会場のすべての人に感動を与えました。保護者の観戦マナー、感染防止エチケットの徹底にもご協力をいただき、本当にありがとうございました。4年生の「森の学校」(宿泊学習)は、感染拡大により運動会後に延期するとともに、日帰りの日程で実施しました。

後期にも、多くの教育活動を計画しています。今後の新型コロナウイルス感染状況がどうなるかは分かりません。子供たちにとって有意義で教育効果が高いからこそ計画しているものばかりです。それぞれのめあてが達成できるように知恵を出して内容を工夫することで、よりよい実施方法を見つけていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

## 学校の様子

### \*\*\* 夏休み作品展 \*\*\*

9月10日(土)、11日(日)に夏休み作品展を開催したところ、多くの家庭にご来校、ご鑑賞いただき、ありがとうございました。

子供たちは長い夏休みを使って、自由研究、図画、工作、習字などに取り組みました。そんな子供たちの作品を見ていただけたことと思います。さらに子供たちは、同学年のみならず、異学年のいろいろな作品を見て、「次はこういう研究をしたい。」「こんな作品も作ってみたい。」などと刺激をもらったのではないのでしょうか。

また、受付は今年度も「附小わくわく研究所(おやじの会)」のみなさんが快く引き受けてくださいました。ありがとうございました。



# 学校の様子

## \*\*\* 運動会 \*\*\*

9月17日(土)の運動会は、心配された台風の影響もなく、無事開催することができました。

新型コロナウイルス感染対策として、異学年で密になることをなるべく避けるために応援合戦や色別パフォーマンスを行わないなどの対応をしながらの運動会でしたが、子供たちはその中でも、各学年、学級で、どのような内容の演技にするか夏休み前から話し合いをしたり、より上手に演技するにはどうすればよいかチームで話し合いをしたりして学年演技を創り上げてきました。

また、今年度は、14日に総練習を行い、本番を想定して演技をすることと併せ、応援の仕方を確認したり、5・6年生を中心に係の動きを確認したりしました。特に係について、この総練習で動きを確認したことによって、本番で自信をもって役割を果たすことができたようでした。



### 和太鼓クラブによる演奏

5・6の希望者で結成している和太鼓クラブが、力強い演奏を披露。



### 1年 わくわく!いきものらんど

生き物に扮した子供たちが、障害を越え、リレーしていきます。



### 2年 風の宅急便やさん

荷物を落とさないように運びます。でも、不安定な荷物ということを知ってくれず・・・。



### 3年 ちむどんどん!満水ルー

エプロンを身にまとい、水を運びます。こぼさないように入れられるでしょうか!?



### 4年 どすこい☆わっしょい!大玉ろんすつんとん

大玉を転がして、障害物を越えていきます。思うように動いてくれない大玉に四苦八苦。

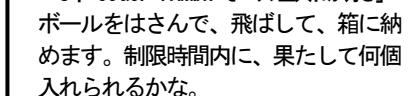


### 5年 SUGOI×FAMILY「そーりゃ玉入れが好き」

ボールをはさんで、飛ばして、箱に納めます。制限時間内に、果たして何個入れられるかな。



係の仕事もしっかりとやり遂げました。



### 6年 みんなのきずなをみせつけろ ぼくたちの集大成

仲間と協力していろいろな障害を乗り越え、果たして何個カラーボールを運べるのか!?



### 6年 色別ルー

プログラムの最後を飾った6年の色別リレー。全校の応援を受け、一生懸命走る6年生。

